

砂防

ふくしま

第30号

福島県砂防協会機関誌

令和元年に発生した主な土砂災害

地すべり（令和元年5月13日発生）



藤沢(喜多方市)

がけ崩れ（令和元年東日本台風）



下名目津3号(二本松市)

土石流（令和元年東日本台風）



諏訪沢(いわき市)

がけ崩れ（令和元年東日本台風）



小田川仲丸(白河市)

CONTENTS



Future
From
Fukushima.

ふくしまから
はじめよう。

福島県砂防協会会長あいさつ	2
令和元年度福島県砂防協会通常総会	3
土砂災害防止月間の取組み	4
令和2年度 砂防関係事業	5
令和元年度 砂防関係事業完了箇所	6
令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集	7
令和元年東日本台風等による災害関連緊急砂防事業等の実施	9
土砂災害警戒区域等の指定状況	11
土砂災害警戒区域等の調べ方	12
避難確保計画の作成支援	13
水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました	14

福島県砂防協会会長あいさつ



福島県砂防協会会長
南会津町長
大宅 宗吉

令和元年度通常総会において、引き続き会長に就任いたしました南会津町長の大宅宗吉です。

昨年は、全国で1,996件、県内では東日本大震災と新潟・福島豪雨があった平成23年の138件を上回る163件の土砂災害が発生しております。

特に令和元年東日本台風においては、県内14の観測所（気象庁）で観測史上最大の降雨（24h雨量）を記録し、大雨特別警報が48市町村に、土砂災害警

戒情報が57市町村に発表され、21市町村で144件の土砂災害が発生し、3名の尊い命が失われております。

改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対して心からお見舞い申し上げます。

現在、平成30年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、土砂災害発生箇所における「災害関連緊急砂防事業等」及び土砂災害警戒区域等の指定に集中的に取り組んでおり、砂防関係施設の整備や警戒避難体制の構築が進められております。

本協会としましても、ハード・ソフトが一体となった総合的な土砂災害防止対策の推進のため、今後とも積極的な支援に努めて参りたいと考えておりますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年度全国治水砂防協会通常総会

令和元年5月30日に東京都「砂防会館」において、全国治水砂防協会の令和元年度通常総会(第83回)が開催されました。

当支部から15名が参加しました。

総会に先立ち、片田敏孝氏（東京大学大学院情報学環特任教授）から「荒ぶる自然災害に向かい合う～平成30年7月豪雨にみるこれからの防災～」と題して特別講演が行われました。

平成30年度事業報告、収支決算、公益目的支出計画実施報告、令和元年度事業計画、収支予算、役員等改選が審議され承認されました。



通常総会の様子

令和元年度全国治水砂防協会東北地区協議会通常総会

令和元年7月11～12日に秋田県にかほ市「ホテルエクセルキクスイ」において、全国治水砂防協会東北地区協議会第68回通常総会及び視察研修が開催されました。

議事に先立ち、砂防功労者表彰が行われ、本県から、協会監事として長きにわたり本協会にご尽力されている棚倉町長の湯座一平氏と元福島県砂防課長の大堀雅治氏が受賞されました。

平成30年度事業報告、収支決算、令和元年度事業計画、収支予算が審議され承認されました。

総会後は、国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長の三上幸三氏より「砂防行政に関する最近の話題」と題して、また全国治水砂防協会理事長の大野宏之氏より「土砂災害と砂防」と題して講話をいただきました。



表彰を受ける大堀雅治氏

令和元年度福島県砂防協会通常総会

令和元年8月8日に福島市「杉妻会館」において、令和元年度福島県砂防協会通常総会が開催され、平成30年度事業報告、収支決算、令和元年度事業計画、収支予算、役員改選が審議され承認されました。

総会後は、国土交通省水管理・国土保全局砂防部保全課長の山口真司氏より「砂防行政に関する最近の話題」と題して、全国治水砂防協会理事長の大野宏之氏より「土砂災害と砂防」と題して講話をいただきました。

役員（令和2年5月現在）

会 長（1名）：南会津町長

副会長（7名）：福島市長、天栄村長、猪苗代町長、川内村長、いわき市長、満山喜一県会議員、県土木部長
（県会議員改選に伴い、令和元年12月24日に満山県議が副会長に就任）

理 事（13名）：二本松市長、川俣町長、古殿町長、小野町長、白河市長、西郷村長、会津若松市長、柳津町長、喜多方市長、西会津町長、下郷町長、只見町長、相馬市長

監 事（2名）：棚倉町長、三島町長



通常総会の様子



(左)山口保全課長、(中央)大野理事長

全国治水砂防促進大会及び福島県砂防協会要望活動

令和元年11月19日に東京都「砂防会館」において、全国治水砂防促進大会が開催されました。

当協会から23名が参加しました。

大会に先立ち広島県知事から「創造的復興による新たな広島県づくり～ピンチをチャンスに。見せちゃれ広島の底力！～」と題して特別講演が行われました。

また、北海道厚真町長から「平成30年胆振東部地震からの教訓」や長野県飯山市長から「井出川土石流災害（平成29年5月）からの教訓」について意見発表があり、最後に土砂災害防止施設の強力な整備推進等の提言が決議されました。

大会後は、大宅会長ほか11名で福島県選出国會議員13名へ令和2年度の予算確保に向けて要望活動を実施しました。



促進大会の様子

福島県砂防協会要望活動



吉野正芳衆議院議員に提言書を手渡す



増子輝彦参議院議員に提言書を手渡す

土砂災害防止月間の取組み

国土交通省と都道府県は、土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害からかけがえのない生命と財産を守るため、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止に関して地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、土砂災害防災訓練や砂防施設の点検を行っています。

【情報伝達訓練】

国や県、市町村が合同で災害発生時における連絡体制の確認や適時適切な避難勧告等の発令、防災意識の向上などを目的に、毎年訓練を実施しており、令和元年度は6月3日に実施しました。



【砂防関係施設の点検】

県と市町村の職員が合同で、急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設を点検し、異状の有無などを確認しました。



【土砂災害・全国防災訓練】

土砂災害警戒区域等の住民参加による実践的な訓練を行い、土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の向上を図るため、「避難の声かけ、安全の確認」をキャッチフレーズに訓練を実施しました。



隣近所の声かけによる避難訓練



消防団女性班による応急手当訓練

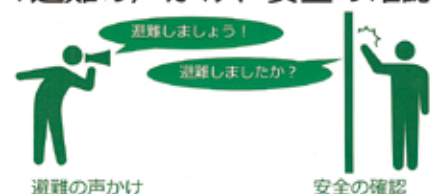
令和2年度の予定

6月の「土砂災害防止月間」の取組として、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に、今年度においても引き続き、情報伝達訓練（6月8日実施予定）、砂防関係施設の点検、土砂災害・全国防災訓練に取り組んでまいります。

2020年「土砂災害・全国防災訓練」の実施

【2020年キャッチフレーズ】

「避難の声かけ、安全の確認」



避難の声かけ

安全の確認

今年の「土砂災害・全国防災訓練」（概ね6月に実施）では、昨年の災害で地域の住民や家族が声をかけあうことで避難が進んだ事例が各地で報告されていることから、地域内での声かけにより避難する取り組みや、安全を確認する訓練を重点的に実施する予定です。

令和2年度 砂防関係事業

概要

令和2年度は、砂防関係予算に総額84億6,841万円（前年度比58%増）を計上しています。

令和元年度東日本台風等に伴い土砂災害が発生した箇所、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策箇所及び要配慮者利用施設等を保全する箇所において重点的に施設整備を進めるほか、土砂災害警戒区域等の指定に必要な基礎調査を実施します。

整備率

県が砂防関係施設の整備を予定している3,009箇所に対する整備率は、令和元年度末時点で28.3%となっています。

砂防関係事業の予算

令和2年度当初予算における砂防関係事業予算

- ①交付金事業（砂防） 23億4,820万円
- ②交付金事業（砂防）（再生・復興） 15億9,170万円
- ③補助事業 4億2,000万円
- ④緊急砂防等災害関連事業 1,220万円
- ⑤砂防施設整備事業 25億1,600万円
- ⑥砂防調査事業 521万円
- ⑦砂防施設維持管理事業 7億1,366万円
- ⑧砂防事業負担金 8億6,144万円

※補助・交付金事業の実施箇所は右表の通り。

土砂災害防止法に基づく基礎調査

県では、土砂災害防止法に基づく基礎調査を令和元年9月20日までに対象となる7,983箇所全てで完了し、土砂災害警戒区域を令和元年度末時点で6,117箇所に指定しております。

令和2年度は、当初予算で6,000万円を確保し、引き続き土砂災害警戒区域の指定を推進するとともに、砂防関係施設の整備等に伴い土砂災害警戒区域の見直しが必要な箇所及び令和元年東日本台風等により土砂災害が発生した箇所の基礎調査を実施します。

県単事業

砂防施設整備事業では、砂防施備を平内沢ほか49箇所で整備（10億7,800万円）、急傾斜地崩壊防止施設を山ノ根1号ほか35箇所で整備（13億5,800万円）及び情報基盤整備（8,000万円）として土砂災害警戒情報システム等の改良を実施します。

砂防施設維持管理事業では、砂防関係施設の補修・点検（1億6,466万円）及び砂防関係施設の改修（5億4,900万円）を実施します。

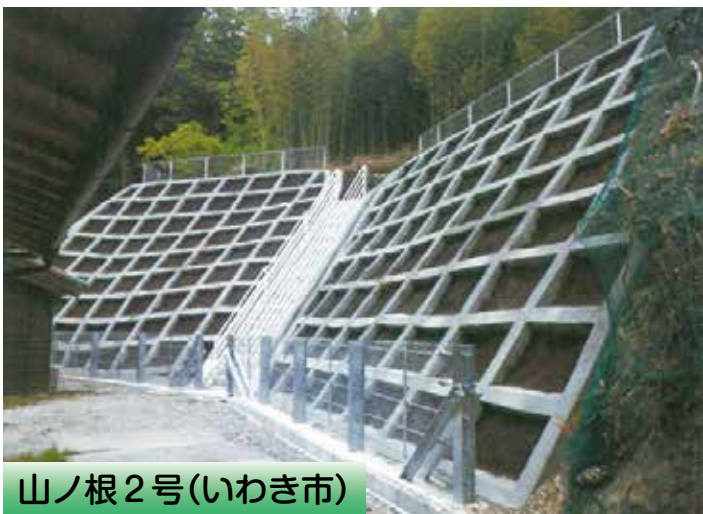
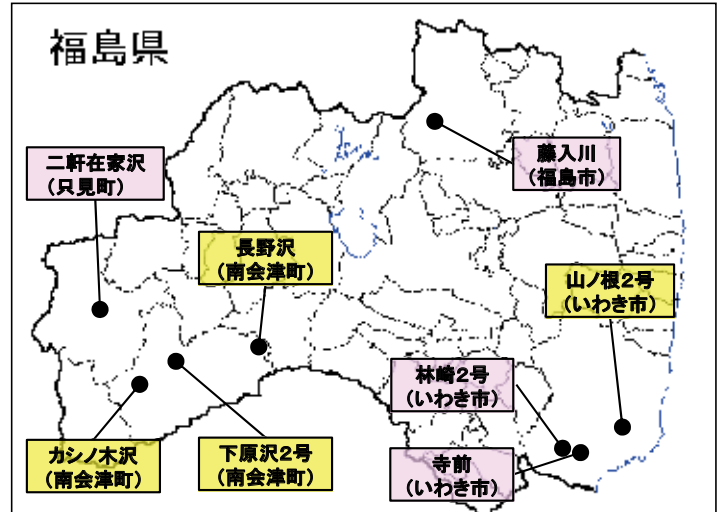
砂防調査事業では、事業採択に向けた調査（521万3,000円）を実施します。

令和2年度事業箇所一覧（補助・交付金）

事業区分	地区	箇所名	所在地	工種	
交付金事業	県北	立石沢	福島市北原	堰堤工	
	県北	阿武隈川圏域	伊達市月館町糠田外	堰堤補強工	
	県北	下名目津3号	二本松市百目木下名目津	法面工	
	県中	大石沢	平田村上蓬田	堰堤工	
	県中	下泉沢	石川町大室	堰堤工	
	県中	北表1号	郡山市田村町	擁壁工	
	県中	寺ノ前1号	郡山市湖南町	法面工	
	県中	尼ヶ谷2号	三春町尼ヶ谷	法面工	
	県中	いわき・相双圏域	古殿町山上外	堰堤工	
	県南	阿武隈川圏域	郡山市逢瀬町	堰堤補強工	
	県南	飯土用	白河市大信豊地	擁壁工	
	県南	久慈川圏域	塙町台宿外	堰堤補強工	
	会津若松	西田面沢	会津若松市湊町	堰堤工	
	会津若松	慶山沢	会津若松市慶山二丁目	堰堤工	
	会津若松	坊が沢	会津坂下町気多宮	堰堤工	
	会津若松	院内沢	会津若松市東山町	堰堤工	
	会津若松	川向	昭和村松山	擁壁工	
	会津若松	香塩	会津若松市大戸町	擁壁工	
	会津若松	御伊勢の宮沢	昭和村小野川	渓流保全工	
	会津若松	阿賀野川圏域	会津若松市東山町湯本外	堰堤補強工	
	喜多方	熱塩沢	喜多方市熱塩加納町	堰堤工	
	喜多方	藤沢	喜多方市山都町	法面工	
	喜多方	山崎	喜多方市慶徳町	擁壁工	
	喜多方	阿賀野川圏域	北塩原村大塩	堰堤補強工	
	喜多方	村杉外	喜多方市熱塩加納町	集水ボーリング	
	南会津	宮ノ沢	南会津町丹藤	堰堤工	
	南会津	阿賀野川圏域	南会津町和泉田	堰堤補強工	
	南会津	西根川	南会津町宮里	流木対策	
	相双	いわき・相双圏域	相馬市山上	堰堤補強工	
	いわき	沼尻沢右支	いわき市内郷綴町	堰堤工	
	いわき	入山沢	いわき市内郷白水町	堰堤工	
	いわき	好古沢	いわき市小川町	堰堤工	
	いわき	諏訪沢	いわき市三和町	流路取付工	
いわき	桐立沢	いわき市川前町	堰堤工		
いわき	北町	いわき市江名	法面工		
いわき	大館1号	いわき市好間町	法面工		
いわき	三箇2号	いわき市常警湯本町	法面工		
いわき	金坂1号	いわき市内郷内町	法面工		
いわき	いわき・相双圏域	いわき市内郷宮町	堰堤工		
いわき	林内	いわき市植田町	法面工		
(再生・復興) 交付金事業	県北	東八川	福島市松川町	堰堤工	
	県中	熱海五丁目沢	郡山市熱海町	堰堤工	
	県中	久保上沢	田村市常葉町	堰堤工	
	県南	大高内沢	白河市大信下小屋	堰堤工	
	喜多方	中ノ沢川	猪苗代町川上	堰堤工	
	相双	前田沢	飯館村飯樋	堰堤工	
	相双	毛戸	川内村下川内	法面工	
	補助事業	県北	大作沢	川俣町大作	堰堤工
		県中	備前作3	田村市常葉町	堰堤工
		県南	長沢	棚倉町八槻	堰堤工
南会津		叶津川	只見町叶津	堰堤工	

令和元年度 砂防関係事業完了箇所

事業名	種別	箇所名	市町村名	概要
交付金事業(砂防)	通常砂防	二軒在家沢	只見町	堰堤工
交付金事業(砂防)(再生・復興)	火山砂防	藤入川	福島市	堰堤工
交付金事業(砂防)(再生・復興)	急傾斜	寺前	いわき市	擁壁工
交付金事業(砂防)(再生・復興)	急傾斜	林崎2号	いわき市	法面工
小計(交付金)	4箇所			
砂防施設整備事業	通常砂防	長野沢	南会津町	堰堤工
砂防施設整備事業	通常砂防	カシノ木沢	下郷町	堰堤工
砂防施設整備事業	通常砂防	下原沢2号	南会津町	堰堤工
砂防施設整備事業	急傾斜	山ノ根2号	いわき市	法面工
小計(県単)	4箇所			
合計	8箇所			



令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集

土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害から人命、財産を守るため、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を深めるための行事を行っています。

この絵画・作文の募集は、土砂災害防止月間の行事の一環として、未来を担う小中学生に、土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうために実施しています。

土砂災害についての関心の高まりとともに、全国の応募者数は年々増加しております。

募集対象：絵画、作文の部ともに小・中学校の児童・生徒

募集期間：令和2年6月1日～令和2年9月15日

送り先：福島県砂防課内「土砂災害防止に関する絵画・作文」担当
あて

※各小・中学校で作品をとりまとめてご送付ください。

審査：地方審査（福島県）を経て、中央審査（国土交通省）が行われ、入賞作品が選定されます。

その他：応募作品については、原則として返還いたしません。

応募作品は、未発表オリジナルのものに限ります。

令和元年度最優秀賞作品
(国土交通大臣賞)



小学生の部
岐阜県揖斐川町立谷汲小学校
3年 植山 あおいさん
「おかしいと思ったら早めのひなん」



中学生の部
静岡県御殿場市立高根中学校
2年 瀬戸 昂大さん
「事前の準備が命綱」

令和元年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の審査結果

県内の応募作品79点の中から、福島県砂防協会会長賞に9作品が選ばれ、そのうち5作品を国土交通省の中央審査会に推薦しました。

中央審査会における審査の結果、本県より2名が受賞しました。

優秀賞（国土交通事務次官賞）

○絵画（中学生）の部

石川町立石川中学校3年 須藤 楓さん

石川町立石川中学校3年 長谷川結生さん



石川中学校での賞状伝達

【応募及び受賞の状況】

①地方審査会（県）

部 門	県内応募者	県受賞者数 (福島県砂防協会会長賞)	中央審査会 推 薦 者
絵画(小学生)の部	18名	2名	1名
絵画(中学生)の部	41名	4名	2名
作文(小学生)の部	1名	1名	1名
作文(中学生)の部	19名	2名	1名
合 計	79名	9名	5名

②中央審査会（国）

部 門	全国応募者	中央審査会 推 薦 者	最優秀賞	優 秀 賞
絵画(小学生)の部	1,175名	51名	1名	15名
絵画(中学生)の部	2,398名	77名	1名	15名
作文(小学生)の部	382名	34名	1名	15名
作文(中学生)の部	764名	47名	1名	15名
合 計	4,719名	209名	4名	60名

小学生の部



「はやくにひなん」 鈴木 華穂さん

< 絵画の部 >

福島県砂防協会長賞（中央審査会推薦）

「はやくにひなん」

西会津町立西会津小学校5年 鈴木 華穂さん

福島県砂防協会長賞

「身のきけんを感じる前にすぐひなん」

西会津町立西会津小学校5年 齋藤 くららさん

< 作文の部 >

福島県砂防協会長賞

「土砂災害から逃げるためには」

いわき市立小川小学校5年 高木 優太郎さん

中学生の部

< 絵画の部 >



「早めの避難！」

須藤 楓さん



「土砂を見つめる悲しげな少女」

長谷川 結生さん

優秀賞(国土交通事務次官賞)

「早めの避難！」

石川町立石川中学校3年

須藤 楓さん

優秀賞(国土交通事務次官賞)

「土砂を見つめる悲しげな少女」

石川町立石川中学校3年

長谷川 結生さん

福島県砂防協会長賞

「生きる思い出と共に」

石川町立石川中学校3年

水野 乃亜さん

福島県砂防協会長賞

「僕らには何ができる」

いわき市立中央台北中学校3年

氏家 大夢さん

< 作文の部 >

福島県砂防協会長賞（中央審査会推薦）

「知って考える土砂災害」

須賀川市立第三中学校1年 廣瀬 ひなたさん

福島県砂防協会長賞

「土砂災害を防止するために」

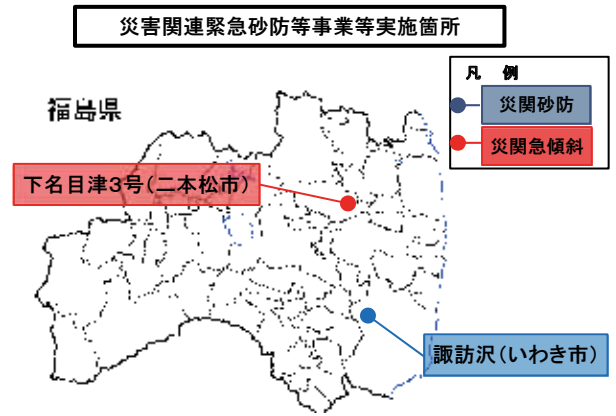
須賀川市立第三中学校2年 小川 萌さん

令和元年東日本台風等による災害関連緊急砂防事業等の実施

10月12～13日の東日本台風及び10月25～26日の台風21号により、中通りと浜通りで多くの土砂災害（土石流、がけ崩れ）が発生しました。

これらの土砂災害に緊急に対処する事業として、県が実施する「災害関連緊急砂防事業等」及び市町村が実施する「災害関連地域防災がけ崩れ対策事業」を国土交通省へ申請し、21箇所が採択となりました。地域住民の方々の安全・安心を確保するため、早期完成を目指して事業を実施しております。

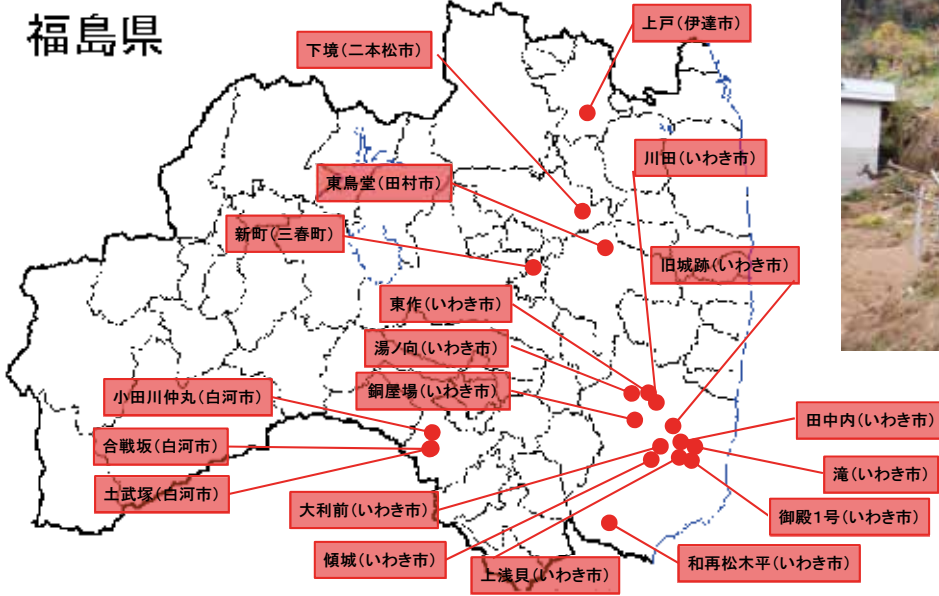
事業名	事業主体	箇所名	市町村名	工種
災害関連緊急砂防事業	県	諏訪沢	いわき市	堰堤工
小 計		1箇所	1市	
災害関連緊急急傾斜地対策事業	県	下名目津3号	二本松市	法面工
小 計		1箇所	1市	
災害関連地域がけ崩れ対策事業	伊達市	上戸	伊達市	法面工
	二本松市	下境	二本松市	法面工
	田村市	東鳥堂	田村市	法面工
	三春町	新町	三春町	法面工
	白河市	土武塚	白河市	法面工
	白河市	合戦坂	白河市	法面工
	白河市	小田川仲丸	白河市	法面工
	いわき市	田中内	いわき市	法面工
	いわき市	東作	いわき市	法面工
	いわき市	川田	いわき市	法面工
	いわき市	旧城跡	いわき市	法面工
	いわき市	滝	いわき市	法面工
	いわき市	傾城	いわき市	法面工
	いわき市	御殿1号	いわき市	法面工
	いわき市	銅屋場	いわき市	法面工
	いわき市	大利前	いわき市	法面工
	いわき市	和再松木平	いわき市	法面工
	いわき市	湯ノ向	いわき市	法面工
	いわき市	上浅貝	いわき市	法面工
小 計		19箇所	6市町	
合 計		21箇所	6市町	



令和元年東日本台風等による災害関連緊急砂防事業等の実施

災害関連地域防災がけ崩れ対策事業実施箇所図

福島県



上戸(伊達市)



土武塚(白河市)



小田川仲丸(白河市)



傾城(いわき市)



旧城跡(いわき市)



土砂災害警戒区域等の指定状況

土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、危険性の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制及び既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進し、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域等の指定を行っています。

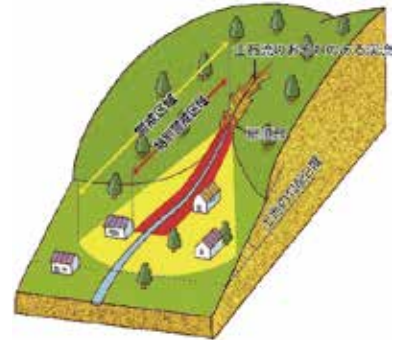
県では、令和2年3月末までに、下表の54市町村において6,117箇所[※]の土砂災害警戒区域を指定しました。

引き続き、土砂災害警戒区域等の指定を推進するとともに、市町村と協力し土砂災害警戒区域における警戒避難体制の充実・強化を図り、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。

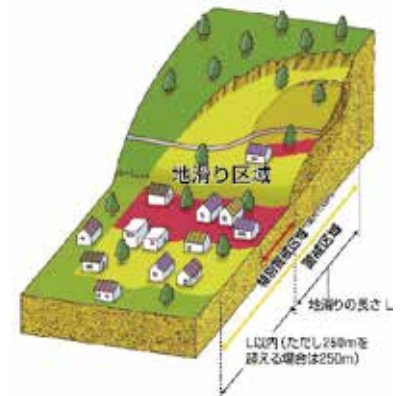
合計（第1回～第80回）

建設事務所	土石流		地滑り		急傾斜地の崩壊		合計	
	土砂災害警戒区域	うち土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	うち土砂災害特別警戒区域
県北(福島市)	125	95	6	0	93	93	224	188
県北(伊達市)	223	174	3	0	156	156	382	330
県北(二本松市)	106	74	0	0	202	202	308	276
県北(本宮市)	26	17	0	0	28	28	54	45
県北(桑折町)	15	12	0	0	10	9	25	21
県北(国見町)	18	13	1	0	2	2	21	15
県北(川俣町)	157	118	0	0	87	87	244	205
県北(大玉村)	13	11	0	0	4	3	17	14
県中(郡山市)	120	96	0	0	194	193	314	289
県中(須賀川市)	35	31	3	0	46	45	84	76
県中(田村市)	189	148	0	0	167	165	356	313
県中(天栄村)	25	19	1	0	33	33	59	52
県中(三春町)	8	6	0	0	49	49	57	55
県中(小野町)	57	47	0	0	77	77	134	124
県中(石川町)	80	55	0	0	32	30	112	85
県中(玉川村)	18	15	0	0	11	11	29	26
県中(平田村)	76	59	0	0	48	47	124	106
県中(浅川町)	16	15	0	0	15	15	31	30
県中(古殿町)	137	116	1	0	50	49	188	165
県南(白河市)	63	44	0	0	195	193	258	237
県南(西郷村)	10	5	0	0	6	5	16	10
県南(泉崎村)	2	2	0	0	6	5	8	7
県南(中島村)	0	0	0	0	4	4	4	4
県南(矢吹町)	0	0	0	0	8	8	8	8
県南(棚倉町)	66	42	6	0	39	38	111	80
県南(矢祭町)	106	91	0	0	23	23	129	114
県南(塙町)	98	76	2	0	79	77	179	153
県南(鮫川村)	36	29	1	0	34	34	71	63
喜多方(喜多方市)	90	52	1	0	66	66	157	118
喜多方(北塩原村)	15	10	0	0	9	9	24	19
喜多方(西会津町)	70	42	4	0	48	48	122	90
喜多方(磐梯町)	7	5	0	0	0	0	7	5
喜多方(猪苗代町)	47	36	0	0	15	15	62	51
会津若松(会津若松市)	86	56	3	0	39	39	128	95
会津若松(会津坂下町)	33	26	3	0	4	4	40	30
会津若松(柳津町)	22	14	17	0	34	33	73	47
会津若松(三島町)	15	10	5	0	24	24	44	34
会津若松(金山町)	46	29	7	0	19	18	72	47
会津若松(昭和村)	29	16	5	0	10	10	44	26
会津若松(会津美里町)	68	41	4	0	36	35	108	76
南会津(下郷町)	47	26	3	0	27	27	77	53
南会津(檜枝岐村)	4	1	0	0	9	9	13	10
南会津(只見町)	45	16	5	0	10	10	60	26
南会津(南会津町)	126	70	5	0	52	51	183	121
相双(相馬市)	24	11	1	0	14	13	39	24
相双(南相馬市)	6	3	0	0	51	50	57	53
相双(新地町)	7	2	0	0	5	5	12	7
相双(飯館村)	2	2	0	0	0	0	2	2
相双(広野町)	2	2	0	0	12	11	14	13
相双(楢葉町)	0	0	0	0	0	0	0	0
相双(富岡町)	3	3	0	0	14	13	17	16
相双(川内村)	15	7	0	0	10	10	25	17
相双(大熊町)	0	0	0	0	0	0	0	0
相双(双葉町)	0	0	0	0	0	0	0	0
相双(浪江町)	6	3	0	0	9	9	15	12
相双(葛尾村)	1	1	0	0	1	1	2	2
いわき(いわき市)	428	366	3	0	742	738	1,173	1,104
合計	3,069	2,260	90	0	2,958	2,929	6,117	5,189

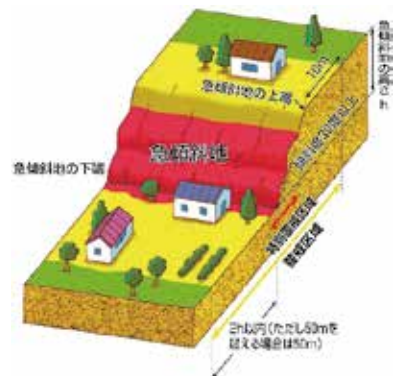
土石流



地滑り



急傾斜地の崩壊



▲土砂災害警戒区域イメージ図

土砂災害警戒区域等の調べ方

土砂災害警戒区域等の指定箇所は随時追加されており、指定箇所は県砂防課のホームページで確認できます。土砂災害警戒区域等が指定手続き中の箇所については、各建設事務所のホームページで基礎調査結果を公表しており、県砂防課のホームページから各建設事務所へリンクされています。

福島県 土砂災害警戒区域 検索



土砂災害警戒区域等の指定箇所



基礎調査結果の公表

土砂災害警戒区域等の標識設置

県では、住民の皆様が日頃から土砂災害の危険性を認識し、早めの避難ができるよう、市町村や住民の皆様の協力を得ながら、目に付きやすい場所に、土砂災害警戒区域等を表示した標識を順次設置してまいります。



複柱式標識の設置イメージ



表示板の設置イメージ



避難確保計画の作成支援

平成29年6月19日に水防法と土砂災害防止法が改正され、浸水想定区域内または土砂災害警戒区域内の要配慮者施設の管理者は、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務となりました。

要配慮者施設の避難確保計画の作成等を支援するため、関係部局や市町村と連携し、避難確保計画の作成状況を把握し、講習会の開催等による指導を行っております。

令和元年度は、5月30日の社会福祉法人等代表者会議、6月21日の社会福祉法人事務長等研修、10月8日の学校安全指導者養成研修会に土木部職員が出席し、避難確保計画の作成方法等を説明しました。

避難確保計画の作成方法については、県災害対策課、県保健福祉総務課、県教育委員会のホームページから国土交通省のホームページにリンクしております。

福島県 避難確保計画

検索



施設管理者を対象とした研修会等において、避難確保計画の作成方法等を説明

出前講座「ふるさと安全たんけんスクール」

次世代を担う子供たちに対し、土砂災害における人的被害の軽減と防災意識の高い人材の育成を図ることを目的として、福島県砂防ボランティア協会と県建設事務所が連携して、小中学校への出前講座（ふるさと安全たんけんスクール）を実施しています。土砂災害の仕組みを模型を用いて実験したり、土砂災害啓発DVDにより土砂災害から身を守る方法について説明する等、土砂災害について子供たちにわかりやすく伝える工夫を行っています。

令和元年度は、小中学校で44回（児童・生徒2,070人が参加）、防災イベントで1回実施しております。



模型による説明（南会津町立田島第二小学校）



スライドによる説明（喜多方市立第三小学校）

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました

平成31年3月に避難勧告等に関するガイドラインが改定され、令和元年6月より、市町村が発表する避難情報等に「警戒レベル」を付け加えて伝えることになりました。

また、福島県と福島地方気象台が発表する土砂災害警戒情報には、「警戒レベル相当情報」を追記して発表することになりました。

高齢者、避難に時間を要する人は、「警戒レベル3」で、速やかに避難しましょう。

「警戒レベル4」では、いつ災害が発生してもおかしくないため、全員避難しましょう。

「警戒レベル5」では、既に災害が発生している状況のため、命を守る行動をとってください。

警戒レベル	避難行動等	住民に行動を促す情報	住民が自主的に避難するための情報	
		避難情報等	警戒レベル相当情報(例)	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 〔市町村が発令〕	氾濫発生情報 大雨特別警報 等	〔国土交通省、 気象庁、 県が発表〕
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） 〔市町村が発令〕	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	
警戒レベル3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔市町村が発令〕	氾濫警戒情報 洪水警報 等	
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕		
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕		

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

令和2年度の行事予定

5月28日(木)	全国治水砂防協会 第84回通常総会 東京都(砂防会館)
7月2日(木)	全国治水砂防協会 第7回土砂災害対策実務者講習会 東京都(砂防会館)
7月下旬～8月上旬	福島県砂防協会 通常総会 福島市
10月29日(木)～30日(金)	全国治水砂防協会 砂防現地視察と討論会 宮城県
11月19日(木)	全国治水砂防促進大会 東京都(砂防会館)
2月中旬	全国治水砂防協会 第61回砂防および地すべり防止講習会 東京都(砂防会館)

編集後記

「砂防ふくしま(第30号)」をお届けします。

これからも充実した「砂防ふくしま」の発行に努めて参りますので、皆様のご意見ご要望をお寄せ下さい。

